

後払い決済事業者比較レポート

目次 (ページ数は右下に記載)

保証型後払い 対法人決済 (BtoB) と 対個人決済 (BtoC) の違い	…2P
保証型法人決済 選定の経緯 (落選サービスの決定)	…3P
保証型法人決済 選定の経緯 (経済条件)	…4P
保証型法人決済 選定の経緯 (顧客の利便性)	…5P
保証型法人決済 選定の経緯 (日々の運用)	…6P
選定のポイントと後払い決済相談室の見解	…7P

保証型後払い 対法人決済（BtoB） と 対個人決済（BtoC）の違い ※一般例

請求書が注文の**都度送られるのがBtoC後払い決済**、月内の注文が**まとまって送られるのがBtoB掛け払い決済**となります。

	購入者	
	BtoB(掛け払い)	BtoC(後払い)
請求書	月1通（何回購入してもまとめて）発行	注文毎に発行
キャッシュフロー	月末締め翌月末迄	商品到着後約14日後まで
利用上限	30～300万/月	～5万円/支払うまで
手数料	0円（基本的には通販事業者が負担）	通販事業者が金額設定できるが、平均は150～200円前後

	通販事業者	
	BtoB(掛け払い)	BtoC(後払い)
キャッシュフロー	月末締め翌々3日～15日（締日+約40日前後）	月1・月2・毎週（最短締日+5営業日）
利用上限	30～300万/月	～5万円/支払うまで
手数料	料率：1.2～3.6% 月額手数料：0円～数万円 請求書発行費用：0円～205円（基本は御社負担）	料率：2.7～5.0% 月額手数料：0円～54,000円 請求書発行費用：162円～205円（基本は購入者負担）

※BtoCとBtoBの違いは、上記記載通り、請求書発行回数・キャッシュフロー・利用上限が主な違いとなります。

BtoB決済は、顧客にとって高額利用や経理業務のしやすさ、**商習慣に合ったキャッシュフローが実現可能な仕組み**です。

また、他決済（クレジットカード・代引き・各種前払い）との比較についてですが、

クレジットカード決済利用層は、後払いという概念は共通している為、**クレジットカード決済利用層からの流入はほとんどありません。**

代引き決済利用層は、現金準備の手間・経理処理のし易さから利用層の多くは流入します。結果、**代引き特有の受け取り拒否問題**も解決します。

銀振・コンビニ前払いなどの各種前払い利用層は、こちらも利便性の高さで経理処理のしやすさから利用層の多くは流入します。**同時に未入金による失注が改善され売上げが見込めます。**（後払い決済相談室の調査では、前年の未入金率3.4%が導入直後0.6%に減少している数値検証が取れています。）

保証型法人決済 選定の経緯（落選サービスの決定）

希望する環境要因の受け入れ可能事業者の選定

運営会社
親会社
事業開始年
法人決済導入企業数 (後払い決済相談室調べ) ※月間取りまとめ+翌月末支払

決済事業者回答（大手5社）				
決済サービスA	決済サービスB	決済サービスC	決済サービスD	決済サービスE
決済会社A	決済会社B	決済会社C	決済会社D	決済会社E
親会社A	親会社B	親会社C	親会社D	親会社E
20●●年	20●●年	20●●年	20●●年	20●●年
約▲▲▲▲社	約▲▲▲▲社	約▲▲▲▲社	約▲▲▲▲社	約▲▲▲▲社

要望	具体的要件
保証型法人決済の導入 (優先順位順に記載)	法人決済●●モデル適用
	●●●対応
	●●の利用可否

OK	OK	OK	OK	NG
OK	OK	OK	OK	NG
OK	OK	OK	NG	OK

↓

優先順位上位を兼ね備えている3社で選定を開始

↓

落選

保証型法人決済 選定の経緯（経済条件）

導入後の仕様要因に適合する事業者の選定

要望	具体的要件
経済条件	手数料条件
	キャッシュフロー

要件詳細		
決済サービスA	決済サービスB	決済サービスC
○	◎	×
<p>〈特別価格〉 初期費用：無料 料率：●%（非課税） 月額：▲円 請求書発行費用：■円</p> <p>月末締め翌々日●日 （締日+約▲日）</p>	<p>〈特別価格〉 初期費用：無料 料率：●%（非課税） 月額：▲円 請求書発行費用：■円</p> <p>月末締め翌々日●日 （締日+約▲日）</p>	<p>〈特別価格〉 初期費用：無料 料率：●%（非課税） 月額：▲円 請求書発行費用：■円</p> <p>月末締め翌々日●日 （締日+約▲日）</p>



■他決済との比較（御社負担）■
 ※客単価■円で決済手数料として試算
代引き手数料：324円 実質料率：●%
掛け払い
 <決済サービスB>：平均単価●円×料率●% = ●円…①
 月額固定費▲円÷想定利用者数▲人 = 1人@▲円…②
 ①+②+請求書発行費用■円 = ■円…③
 <実質料率>③÷客単価■円 = ▲%
 <決済サービスA>：上記同様計算 ③…■円
 実質料率：▲%
 <決済サービスC>：上記同様計算 ③…■円
 実質料率：▲%

■前提（想定利用高及び件数）■
 掛け払い月間取扱高：●万円、▲人（単価■円）想定
結論：月間で ●円 決済サービスBが最安値
 ※下記差額詳細
 料率分：●円
 月額固定費分：▲円
 請求書発行費用：■円

導入後の仕様要因に適合する事業者の選定

要望	具体的要件
----	-------

要件詳細		
決済サービスA	決済サービスB	決済サービスC

顧客の利便性	評価
	項目A
	項目B
	項目C
	項目D
	項目E

○	○	○

※重要な項目は赤字で記載



保証型法人決済 選定の経緯 (日々の運用)

導入後の仕様要因に適合する事業者の選定

要望	具体的要件
日々の運用について	評価
	項目A
	項目B
	項目C
	項目D
	項目E
	項目F
	項目G
	項目H
	項目I
項目J	

※重要な項目は赤字で記載

要件詳細		
決済サービスA	決済サービスB	決済サービスC
◎	○	△



決済会社Aのメリット
決済会社Bのメリット
決済会社Cのメリット

選定のポイント

後払い決済相談室の見解